

「望んでもできない」を可能に 「自由と尊厳」でシルバーステージが輝く

社会福祉法人博愛福祉会



大西弘文
理事長

連載企画

関西 有力介護事業者

インタビュー

インタビューアール・平山久仁子

供してきました。事業規模を大きくしていくためではなく、地域貢献とスピード感を高めたいと思っています。

——どのような介護を目指していますか。

大西 加齢は、機能の低下に繋がります。住み慣れた家で暮らしたいという願いは誰もが持っていますが困難は訪れます。介護支援とは、その隙間を埋めるサービスの提供です。

足りなくなったものをサポートし、リハビリで残存機能を回復させて日常の暮らしを可能にします。限界はあっても、味わいのある暮らしを大切にすることに意味があります。

介護はできると思っただ時点から間違っています。誰もが尊厳をもって生きています。年齢を重ね困難を実感しても、それは何も変わりません。残存した機能を強化し、新しい在り方を見つけて歩き出すのは本人です。アレもコレもしてあげるの

は、ケアではありません。「望んでもできない

い」をサポートするに

とどめるのが大切で

す。快適な生活は、自

由と尊厳がなくては成

り立ちません。

そのためには、その

方の正確な状態、行動

を把握しなくてはいい

ません。できないこと

に何をプラスするの

か、見極めることが重

要です。自らができる

こと8割、サポート1

割くらいがちょうど

いいです。あまり情を

入れすぎると良くない

と思います。

適正なケアバランス

を見極めたサービスの

提供には、スタッフの

専門性が求められま

す。ケーススタディを

重ねながら、導き出し

ていきます。ですから、

技能アップが大切で

す。その専門性が感動

を現実し、共感が原動

力となり、高齢者もス

タッフも新しいステー

ジを登ります。その先

には、また、開きたい

ステージが生まれま

す。螺旋状に暮らしが

戻ってくるのです。

——人材難への対応、

外国人労働者の受入れ

をどうしていますか。

大西 「全国平均より、

多くの給与を実現す

る」のが法人の社員へ

の務めです。楽しい職

場にはそれが不可欠で

す。研修体制があり、

レベルアップが実感で

き、課題をクリアして

いける職場環境、進歩

と感動と共感のある職

場は、仲間を育てます。

すると、日常が否定的

な言葉から肯定的な言

葉に変わっていきま

す。そんな職場は、人

を集めます。

外国人の雇用も、当

グループでは4月から

本格化しています。技

能実習生がミャンマー

から4名、中国から3

名、モンゴルから2名

の計9名、留学生がベ

トナムから6名、EP

Aを通じてフィリピン

から1名で総計16名で

す。日本語、住宅をは

じめ、必要な支援は整

えます。

——今後の展開につい

て聞かせてください。

大西 今後も、地域に

必要な快適ケアの進化

をはかり、挑戦を続け

ます。前進の姿勢に揺

らぎはありません。利

用者、社員、地域の喜

びを目指し、挑戦する、

それが当グループで

す。

法人名：社会福祉法人博愛福祉会

設立：1994年11月30日

法人所在地：兵庫県加古川市平岡

町新在家2333-2

関
西